

報道関係各位

岩手県立大学盛岡短期大学部
三須田善暢研究室

戦後 80 年「岩手県満州開拓殉難の塔」を考えるミニシンポジウムのお知らせ

記

1 日時

第1部 2025年8月24日（日）13：30～、第2部 8月27日（水）13：30～

2 場所

第1部 岩手県立大学共通講義棟 106 講義室

第2部 第2部 岩手県立大学アイーナキャンパス学習室 1

3 内容

現在その継承が危機にある滝沢市砂込にある満州開拓慰霊塔を事例として、満州開拓に関する慰霊碑等の維持・管理・継承問題について、識者（高橋健男氏（新潟県見附市 満洲開拓の研究者）、小松靖彦氏（青山学院大学教授）、加藤聖文氏（駒澤大学教授）と守る会のメンバーを交えて、シンポジウム形式での議論をおこない、平和教育等積極的な方向性を考える契機とする。

4 対象者

関心のある市民、学生、研究者など

5 留意事項

参加費無料。オンラインでの参加希望の方は三須田までご連絡ください。

主催：岩手県満州開拓受難の塔を守る会、岩手県立大学盛岡短期大学部三須田研究室

【問合せ先】岩手県立大学盛岡短期大学部 教授 三須田善暢

misuda@iwate-pu.ac.jp TEL：019-964-2964 / FAX：2901



管理が難しくなる 満州開拓の慰霊碑 今後どのように すればよいか？

戦後80年

「岩手県 満州開拓殉難 慰霊の塔」 を考える

ミニシンポジウム

2日に分けて講演会を行います

第1部

第2部

2025/8/24日 & 27水

各日13:30～・参加無料・申込不要

滝沢市砂込に満州開拓移民の慰霊碑がありますが、開拓移民の関係者は80歳代、90歳代を迎え、組織や慰霊碑の継承が難しくなっています。今後の慰霊碑と資料の保存・管理・継承をどうしたらよいか等について有識者の講演を交えて考えます。関心のある方のご参加をお待ちしています。

挨拶

守る会 会長 高橋光
(昭和15年 馬家店開拓団へ渡満)

第1部 講師／

高橋健男氏

満州開拓移民研究家。新潟県在住。著書に『赤い夕陽の満州にて』『新潟県満州開拓史』『新聞記事から読み解く 柏崎・刈羽の満蒙開拓』など。

第1部 講師／

小松靖彦氏

青山学院大学文学部教授。専攻は日本文学。著書に『戦争下の文学者たち』『未墾地に入植した満蒙開拓団長の記録』（堀忠雄著、黒澤勉と共編）など。岩手県派遣老永府開拓団について調査中。

第2部 講師／

加藤聖文氏

駒沢大学文学部教授。第二次世界大戦終結後の日本人引揚問題が専門。また、歴史記録の管理と公開のあり方について実践的研究を行っている。著書に『満蒙開拓団』など。

対象

興味がある方どなたでも歓迎

参加費

無料 (事前申し込み不要)
(懇親会は有料)

◎8月24日の10:00から

滝沢市砂込の慰霊碑前で慰霊祭を行う予定です

また、同日夕刻に懇親会を行う予定です

◎zoomでのオンライン中継も検討中です

※懇親会・オンライン中継参加希望の方は事前に

下記までご連絡ください

日時・場所

第1部：8月24日（日）13:30～17:00

岩手県立大学共通講義棟

106講義室 滝沢市菓子152-52

第2部：8月27日（水）13:30～15:00

岩手県立大学アイーナキャンパス

学習室1

盛岡市駅前西通1-7-7 7階

地域に未来に多様なアートを

主催 岩手県満州開拓殉難の塔を守る会・岩手県立大学盛岡短期大学部三須田研究室

連絡先 三須田善暢 ☎019-694-2964(研究室) E-mail misuda(アット)iwate-pu.ac.jp

後援 岩手県、岩手県教育委員会、滝沢市



岩手県立大学
盛岡短期大学部
Iwate Prefectural University, Morioka Junior College